

※幼＝幼稚園免許状、 保＝保育士資格 の略							必修・幼・保	幼必・保必	必修・幼	幼 必修	必修・保	保 必修	保 選択必修	必修	選択必修	選択
	1年次				2年次				3年次							
教科目の系列	前期		後期		前期		後期		前期		後期					
保育の本質・目的の理解に関する科目	教育原理		教職論												保育の研究	
	子ども家庭福祉		社会福祉		子ども家庭支援論											
	保育原理				社会的養護Ⅰ											
保育の対象の理解に関する科目	発達心理学						子ども家庭支援の心理学									
							子ども理解の理論及び方法									
	子どもの保健						教育相談									
							特別支援教育									
							子どもの食と栄養									
保育の内容・方法の理解に関する科目			保育内容「人間関係」の指導法				保育内容「健康」の指導法									
			保育内容「言葉」の指導法				保育内容「環境」の指導法									
	乳児保育Ⅰ		乳児保育Ⅱ		教育方法論		保育内容「表現」の指導法				保育内容「表現」の指導法Ⅱ		保育総合表現			
			子どもの健康と安全								子育て支援					
	保育入門演習		保育技術演習		障がい児保育Ⅱ		社会的養護Ⅱ						在宅保育			
	幼児と言葉		幼児と健康		保育指導計画の方法								保育内容総論			
	音楽・基礎		幼児と音楽表現Ⅰ		幼児と環境											
	造形・基礎		幼児と音楽表現Ⅱ		幼児と音楽表現Ⅲ						保育者のためのピアノⅠ		保育者のためのピアノⅡ			
			幼児と造形表現Ⅰ		幼児と造形表現Ⅱ											
					幼児と運動・遊び											
実習			保育実習Ⅰa		教職演習				実習指導Ⅰb							
	実習指導Ⅰa				幼稚園教育実習Ⅰ		幼稚園教育実習Ⅱ		保育実習Ⅰb							
					保育実習Ⅱ				保育実習Ⅲ							
					実習指導Ⅱ				実習指導Ⅲ				ボランティア実践			
応用・発展																
					子ども基礎研究Ⅰ		子ども基礎研究Ⅱ		保育実務研修Ⅰ		保育実務研修Ⅲ		子育て支援演習			
									保育実務研修Ⅱ		保育実務研修Ⅳ		保育実務研修Ⅴ			
									保育教育実践演習Ⅰ		保育教育実践演習Ⅱ		保育教育実践演習Ⅲ			
専修科目					子ども研究Ⅰ		子ども研究Ⅱ		子ども研究Ⅲ		子ども研究Ⅳ		子ども研究Ⅴ		子ども研究Ⅵ	

C P	①豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 ②子どもの健やかな成長、幸せのために、子ども理解を基に援助できる能力や、子育て支援に係る能力を育成する専門教育を実施する。 ③実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実践する。 ④保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能・思考力や、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専門科目を設ける。
D P	①保育者の本質を理解し、保育者としての専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。 ②保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。 ③保育実践に必要な保育技術や情報収集力を持ち、子どもとの連携を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。 ④豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資源能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。